

## 2023 年度 傾斜的研究費（全学分） 研究報告書

【研究代表者所属】：東京都立産業技術大学院大学産業技術研究科産業技術専攻

【研究代表者氏名】：松尾 徳朗

【研究代表者氏名フリガナ】：マツオ トクロウ

【研究代表者職】：教授

## 【国内研究分担者（所属、氏名、職）】

- ・東京都立産業技術大学院大学産業技術研究科、細田貴明、准教授

## 【国外研究分担者（所属、氏名、職）】

- ・なし

【研究課題名】：専門職大学院のためのグローバルコンピテンシーを基盤とした AIIT-MGUDS-S の開発

【研究実績の概要（800～1000 字程度で記入。図、グラフ等の使用も可。）】

・東京都立産業技術大学院大学の高度専門職人材教育研究センター担当の IR 推進室は、我が国の専門職大学院大学としては、最も早期に設置された IR 部門である。本学における教育活動を通じたグローバルコンピテンシーの獲得は重要であり、本研究課題では、専門職人材育成の高等教育のグローバルコンピテンシー評価は標準化されるべく Miville-Guzman Universality-Diversity Scale, Short Form (MGUDS-S) [Miville1999]を基盤とした調査・研究を行った。本学が率先して世界標準でグローバルコンピテンシーとしての MGUDS-S の専門職大学院版を作成すべく、教育プログラムにおけるグローバルコンピテンシーを評価可能な AIIT-MGUDS-S を構築するためのデータ収集と分析を行った。

AIIT-MGUDS-S においては、我が国における産業界の要請や学生の講義の受講や PBL 活動への参加を含めた上で、再定義を試みた。「(1) 開講科目のグローバル寄与度の検証」として、本学で開講されている科目に関するグローバル寄与度を整理し、MGUDS-S への連結の可能性、度合いおよび統合可能な要素等を検討した。また、一部の科目を対象として、MGUDS-S の 15 のグローバルコンピテンシーに対して、5段階のスコアづけができるかを試みるとともに、総合的なグローバルコンピテンシーのスコア計算が可能かどうかを検討した。「(2) 本学の特徴要素抽出に基づく MGUDS-S との整合度比較」として、生に対して実施したアンケートおよび 2022 年 12 月に PBL 検討部会で収集されたアンケートの結果と上記研究目的 1 でのスコアについて比較を行い、ステークホルダーの期待に対してどの程度の合致度があるかを調査した。その上で、開講科目が MGUDS-S のうち項目ごとに本学の強みおよび弱みについて知見を得た。「(3) 産業技術分野の高度専門職業人育成のための AIIT 版 MGUDS-S の開発と評価」としては、上記の本研究活動で得た知見に基づき今後継続的に検討する。

(※研究の全体の目的・意義に照らし、当該年度の研究で、どのように進捗・達成されたかも含め記載すること。)

【学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）】

- ・Takaaki Hosoda , A Study of Methods to Enhance Skills for Designing Instruction in Teacher Preparation Education, International Symposium on Applied Information Technologies and

Innovative Applications March 6 - 7, 2024. (招待講演)

・ Takaaki Hosoda, Koji Okazaki and Tokuro Matsuo, Survey Analysis of Students' Attitudes in PBL Activities, 15th IIAI International Congress on Advanced Applied Informatics December 11-13, 2023, Bali, Indonesia

・ Tokuro Matsuo, Obtaining the Innovative Knowledge from Splendid Experiences, Petra Christian University, Surabaya, Indonesia, February 29, 2024 (招待講演)

・ Tokuro Matsuo, Quality Enhancement through Immersion and Accreditation, International University of Batam, Indonesia, February 28, 2024 (招待講演)

【論文発表又は著書発行 (発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入)】

・ Morihiko Ikemizu, Yuya Yokoyama, Takaaki Hosoda, Tokuro Matsuo, Teruhisa Hochin. (September 2023). Developing Hypotheses and Theoretical Verification of Antecedents of Organization Engagement that Contribute to Clarification of Employee Engagement. IIAI Letters, accepted paper in IIAI AAI 2023.

・ Morihiko Ikemizu, Hiroyuki Maruyama, Takaaki Hosoda, Tokuro Matsuo, Teruhisa Hochin. (May 2023). New Conceptual Model of Employee Engagement in Formal and Informal Organizations of Japanese Companies. International Journal of Service and Knowledge Management, 7(1).

【作品等】

・ なし

【科学研究費助成事業への応募状況、採択状況】

・ 科研費基盤研究 B、挑戦的研究に応募

【国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

・ JST CREST (受託研究費) 受入中。

【受賞等】

・ なし

【その他社会貢献】

[公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]

・

【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】

(工業所有権の名称、発明者、権利者、工業所有権の種類・番号、出願年月日、取得年月日)

・ なし

【研究分担額】

(研究代表者・分担者名、所属、金額 (円))

・ 松尾徳朗・細田貴明、東京都立産業技術大学院大学、1,910,000 円